当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2021年６月29日）	
運用方針	ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド (ベビーファンド)	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年１回（毎年７月11日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

SBI Asset Management

運用報告書（全体版）

第４期

（決算日：2025年７月11日）

ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・ファンド
(愛称：ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・ファンド(愛称：ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式)」は、2025年７月11日に第４期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社
東京都港区六本木１－６－１
お問い合わせ先
電話番号 03-6229-0097
受付時間：営業日の９：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。
https://www.sbiam.co.jp/

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2021年6月29日	10,000	―	―	10,000	―	―	1,992
1期(2022年7月11日)	12,424	0	24.2	12,521	25.2	99.5	11,717
2期(2023年7月11日)	13,627	0	9.7	13,803	10.2	99.5	22,460
3期(2024年7月11日)	18,172	0	33.4	18,521	34.2	99.4	29,935
4期(2025年7月11日)	19,086	0	5.0	19,539	5.5	99.5	32,253

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) ベンチマークはFTSE ハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注6) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注7) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

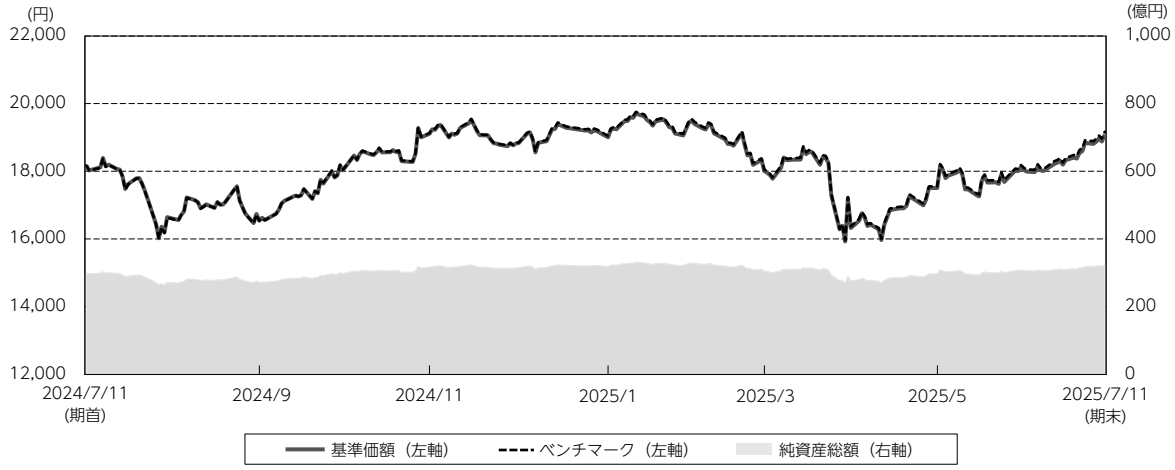
年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2024年7月11日	18,172	―	18,521	―	99.4
7月末	17,638	△2.9	17,966	△3.0	99.4
8月末	17,114	△5.8	17,432	△5.9	99.5
9月末	17,185	△5.4	17,526	△5.4	99.5
10月末	18,597	2.3	18,975	2.5	98.8
11月末	19,063	4.9	19,454	5.0	99.4
12月末	19,289	6.1	19,697	6.3	99.5
2025年1月末	19,470	7.1	19,894	7.4	99.5
2月末	18,756	3.2	19,161	3.5	99.4
3月末	18,191	0.1	18,596	0.4	99.5
4月末	16,910	△6.9	17,281	△6.7	99.5
5月末	17,668	△2.8	18,071	△2.4	99.8
6月末	18,406	1.3	18,841	1.7	99.5
(期末)					
2025年7月11日	19,086	5.0	19,539	5.5	99.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) ベンチマークはFTSE ハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）
FTSE ハイディビデンド・イールド・インデックスとは、米国株式市場における高配当利回りの銘柄（除く、REIT）で構成される時価総額加重平均型の株価指数です。なお、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、FTSE ハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年７月12日から2025年７月11日まで）

○基準価額等の推移



期　首：18,172円
期　末：19,086円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：　　5.0%

（注１）ベンチマークは、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP１をご参照ください。
（注２）ベンチマークは、期首（2024年７月11日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
（注３）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。
（注４）ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
・米国景気の軟着陸への期待
・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高

下落要因

・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的姿勢
・景気後退懸念の高まり
・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
・対円で米ドルが下落したこと

○投資環境

＜米国株式市場＞

当期、米国株式市場を代表するS&P500種指数は上昇しました。2024年７月期初、S&P500種指数は5600近辺でスタートしましたが、一部大型ハイテク株の決算が市場の予想を下回ったことや、対中輸出規制の強化への懸念によりハイテク株を中心に下落したのに加え、８月の初旬に雇用統計の発表を受けて景気後退懸念が広がり、米株価が急落する局面がありました。８月後半にかけてインフレ鎮静化や底堅い景気指標、企業の好調な決算発表を受けて市場は堅調に推移しましたが、８月のISM製造業景況感指数の不振を機に再び急落しました。９月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では50bpの利下げが決定され、米景気のソフトランディング期待が高まったことや米大統領選でトランプ氏が選出され、新政権による減税、規制緩和が景気を支えるとの期待を受けて上昇しました。12月FOMCでは、FRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を２回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、下落しました。2025年１月は、コアCPI（消費者物価指数）の伸び鈍化や、米大統領就任初日の関税引き上げ見送りもあり、上昇基調でしたが、２月に入りトランプ政権による関税政策や米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことで下落しました。３月に入ると、比較的堅調な雇用統計から上昇する場面もありましたが、米自動車関税導入表明や弱い個人消費、さらに４月２日に発表された相互関税により、景気悪化懸念が強まり急落しました。その後、中国以外について関税上乗せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小したものの、米大統領がFRB議長解任を示唆し、下落しました。４月下旬以降、対中姿勢の緩和など市場に配慮した言動が相次いだことで上昇基調が継続し、6200近辺で期末を迎えました。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は期を通じて、円高水準となりました。2024年７月期初、158円近辺でスタートしましたが、８月には雇用統計が予想以上に悪化したことで、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下し、円高局面となりました。９月中旬には140円を割り込む水準まで円高が進みました。ただ、10月以降は堅調な米国の経済指標から追加の大幅な利下げ観測が後退する中で、米長期金利が上昇に転じる一方、日本の長期金利は日銀の慎重姿勢もあり緩やかな上昇にとどまったことで、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となりました。11月上旬の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとドル買いが強まり、2025年１月には158円台を付けました。その後、トランプ政権の関税政策による景気減速懸念が意識され、長期金利は低下に転じたことと、日銀が金利を引き上げたことから、やや円高傾向となりました。４月初旬にトランプ米大統領が相互関税を発表すると、リスクオフの動きが強まり、140円前後まで円高が進みました。市場の混乱を受け、その後、トランプ大統領が一部関税の延期を発表するなど緩和的な姿勢を示すと、ドルを買い戻す動きが強まり、147円近辺で期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

＜当ファンド＞

ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

＜ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド＞

ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、バンガードが運用を行う「バンガード・米国高配当株式ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

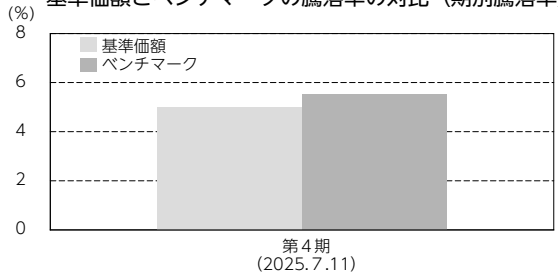
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95％以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.5％となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は＋5.0％となり、ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である＋5.5％を概ね0.5％下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などがあげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークはFTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP１をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第４期 2024年７月12日～ 2025年７月11日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	9,086

（注１）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注２）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜当ファンド＞

引き続き、ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象であるＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

＜ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド＞

引き続き、「バンガード・米国高配当株式ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2024年７月12日～2025年７月11日）

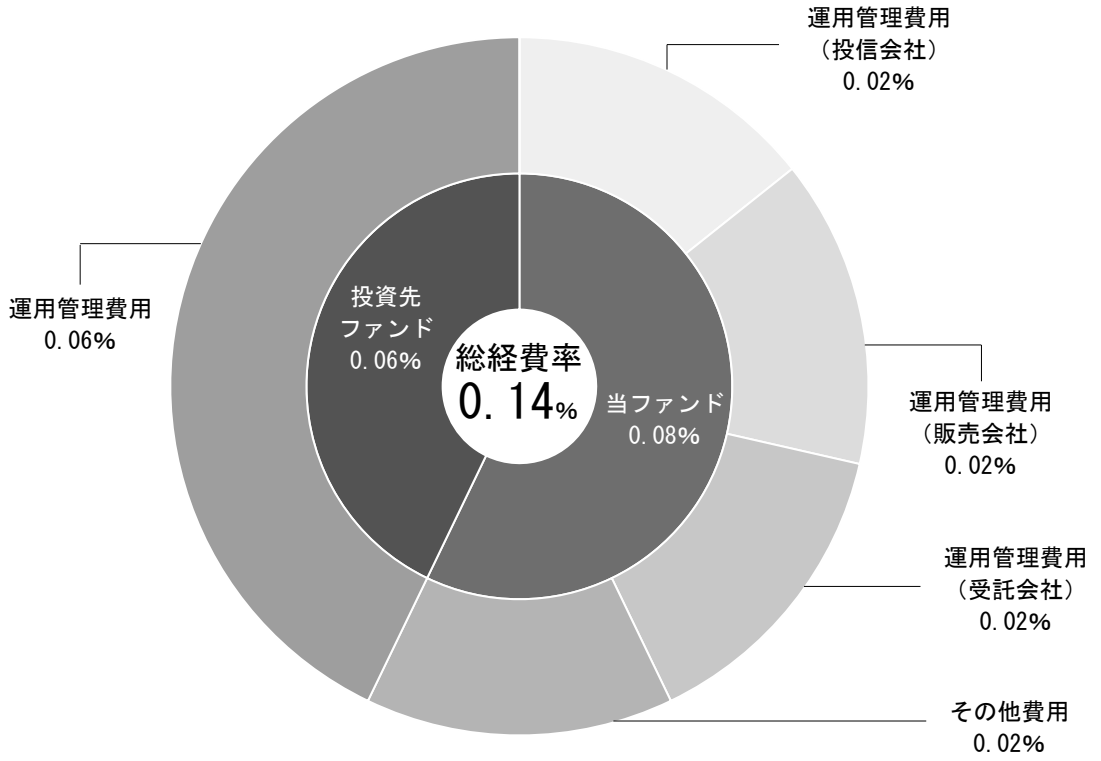
項　　目	当　　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 信　託　報　酬	12	0.064	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投　信　会　社）	(　4)	(0.024)	委託した資金の運用の対価
（販　売　会　社）	(　4)	(0.024)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(　3)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ　の　他　費　用	4	0.021	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(　3)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(　0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印　　刷）	(　1)	(0.004)	開示資料等の作成・印刷費用等
合　　計	16	0.085	
期中の平均基準価額は、18,190円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注４）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

〇総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.14％です。**



総経費率（①＋②）	0.14%
①当ファンドの費用の比率	0.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
（注４）投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年７月12日～2025年７月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド	3,796,507	6,950,270	3,383,601	6,137,960

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年７月12日～2025年７月11日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年７月11日現在）

親投資信託残高

銘柄名	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	口数
	千口	千口	千円
ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド	16,429,615	16,842,520	32,263,533

（注）単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2025年７月11日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド	32,263,533	99.8
コール・ローン等、その他	60,933	0.2
投資信託財産総額	32,324,466	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（50,686,548千円）の投資信託財産総額（51,036,515千円）に対する比率は99.3%です。
（注３）外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、７月11日における円換算レートは、１ドル＝146.66円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年７月11日現在）

項目	当期末
(A)資産	32,324,466,283円
コール・ローン等	23,098
ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド（評価額）	32,263,533,185
未収入金	60,910,000
(B)負債	71,138,625
未払解約金	60,896,110
未払信託報酬	9,553,585
その他未払費用	688,930
(C)純資産総額（Ａ－Ｂ）	32,253,327,658
元本	16,898,719,341
次期繰越損益金	15,354,608,317
(D)受益権総口数	16,898,719,341口
１万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ）	19,086円

＜注記事項（運用報告書作成時には監査未了）＞
（貸借対照表関係）

期首元本額	16,473,502,575円
期中追加設定元本額	3,819,408,308円
期中一部解約元本額	3,394,191,542円

○損益の状況（2024年７月12日～2025年７月11日）

項目	当期
(A)有価証券売買損益	1,538,067,242円
売買益	1,956,894,420
売買損	△ 418,827,178
(B)信託報酬等	△ 21,183,127
(C)当期損益金（Ａ＋Ｂ）	1,516,884,115
(D)前期繰越損益金	6,437,258,223
(E)追加信託差損益金	7,400,465,979
（配当等相当額）	(3,471,161,890)
（売買損益相当額）	(3,929,304,089)
(F)計（Ｃ＋Ｄ＋Ｅ）	15,354,608,317
(G)収益分配金	0
次期繰越損益金（Ｆ＋Ｇ）	15,354,608,317
追加信託差損益金	7,400,465,979
（配当等相当額）	(3,484,799,154)
（売買損益相当額）	(3,915,666,825)
分配準備積立金	7,954,142,338

（注１）損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）計算期間末における費用控除後の配当等収益（732,833,289円）、費用控除後の有価証券等損益額（784,050,826円）、信託約款に規定する収益調整金（7,400,465,979円）および分配準備積立金（6,437,258,223円）より分配対象収益は15,354,608,317円（10,000口当たり9,086円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

（変更適用日：2025年４月１日）

＜当該約款変更につきまして＞

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

これまでも月次報告書や運用報告書等の開示資料において「配当込み」ベンチマークを使用しておりましたが、目論見書においても、「配当込み指数」であることをより明確に示す目的から、当該ベンチマークの名称に「配当込み」の記載を追加する約款変更を行いました。

（変更適用日：2025年４月12日）

本ファンドは、FTSEインターナショナルリミテッド（以下「FTSE」といいます。）、ロンドン証券取引所（以下「LSEG」といいます。）（総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。）のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。
ライセンス供与者は、「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス」（以下、「本指数」といいます。）の使用及びいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。
本指数はFTSEによって編集及び計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず（過失の有無を問わず）、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。
FTSE®はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。

第４期　運用報告書

（決算日：2025年７月11日）

ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・マザーファンドの第４期（2024年７月12日から2025年７月11日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	米国株式市場における高配当利回りの銘柄（除く、REIT）で構成される時価総額加重平均型の株価指数である、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		期中騰落率		
（設定日）	円	%		%	%	百万円
2021年６月29日	10,000	－	10,000	－	－	1,992
１期(2022年７月11日)	12,441	24.4	12,521	25.2	99.2	11,750
２期(2023年７月11日)	13,659	9.8	13,803	10.2	99.4	22,468
３期(2024年７月11日)	18,226	33.4	18,521	34.2	99.4	40,969
４期(2025年７月11日)	19,156	5.1	19,539	5.5	99.5	50,940

（注１）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注２）設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
（注３）ベンチマークはFTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
（注４）ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
（注５）ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（期首）	円	%		%	%
2024年７月11日	18,226	－	18,521	－	99.4
７月末	17,691	△2.9	17,966	△3.0	99.4
８月末	17,167	△5.8	17,432	△5.9	99.5
９月末	17,239	△5.4	17,526	△5.4	99.5
10月末	18,656	2.4	18,975	2.5	98.8
11月末	19,125	4.9	19,454	5.0	99.3
12月末	19,353	6.2	19,697	6.3	99.5
2025年１月末	19,536	7.2	19,894	7.4	99.5
２月末	18,820	3.3	19,161	3.5	99.4
３月末	18,254	0.2	18,596	0.4	99.5
４月末	16,970	△6.9	17,281	△6.7	99.5
５月末	17,732	△2.7	18,071	△2.4	99.7
６月末	18,473	1.4	18,841	1.7	99.5
（期末）					
2025年７月11日	19,156	5.1	19,539	5.5	99.5

（注１）騰落率は期首比です。
（注２）ベンチマークはFTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
（注３）ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
（注４）ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）
FTSEハイディビデンド・イールド・インデックスとは、米国株式市場における高配当利回りの銘柄（除く、REIT）で構成される時価総額加重平均型の株価指数です。なお、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年７月12日から2025年７月11日まで）

○基準価額等の推移

当マザーファンドの基準価額は期首18,226円から始まったあと、期末には19,156円となりました。期を通じて騰落率は＋5.1％となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2024/７/11	2025/１/24	2025/４/９	2025/７/11
基準価額（円）	18,226	19,773	15,986	19,156

○投資環境

＜米国株式市場＞

当期、米国株式市場を代表するS&P500種指数は上昇しました。2024年７月期初、S&P500種指数は5600近辺でスタートしましたが、一部大型ハイテク株の決算が市場の予想を下回ったことや、対中輸出規制の強化への懸念によりハイテク株を中心に下落したのに加え、８月の初旬に雇用統計の発表を受けて景気後退懸念が広がり、米株価が急落する局面がありました。８月後半にかけてインフレ鎮静化や底堅い景気指標、企業の好調な決算発表を受けて市場は堅調に推移しましたが、８月のISM製造業景況感指数の不振を機に再び急落しました。９月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では50bpの利下げが決定され、米景気のソフトランディング期待が高まったことや米大統領選でトランプ氏が選出され、新政権による減税、規制緩和が景気を支えるとの期待を受けて上昇しました。12月FOMCでは、FRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を２回に半減させたことなどから米長期金利が大幅に上昇し、下落しました。2025年１月は、コアCPI（消費者物価指数）の伸び鈍化や、米大統領就任初日の関税引き上げ見送りもあり、上昇基調でしたが、２月に入りトランプ政権による関税政策や米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことで下落しました。３月に入ると、比較的堅調な雇用統計から上昇する場面もありましたが、米自動車関税導入表明や弱い個人消費、さらに４月２日に発表された相互関税により、景気悪化懸念が強まり急落しました。その後、中国以外について関税上乗せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小したものの、米大統領がFRB議長解任を示唆し、下落しました。４月下旬以降、対中姿勢の緩和など市場に配慮した言動が相次いだことで上昇基調が継続し、6200近辺で期末を迎えました。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は期を通じて、円高水準となりました。2024年７月期初、158円近辺でスタートしましたが、８月には雇用統計が予想以上に悪化したことで、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下し、円高局面となりました。９月中旬には140円を割り込む水準まで円高が進みました。ただ、10月以降は堅調な米国の経済指標から追加の大幅な利下げ観測が後退する中で、米長期金利が上昇に転じる一方、日本の長期金利は日銀の慎重姿勢もあり緩やかな上昇にとどまったことで、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となりました。11月上旬の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとドル買いが強まり、2025年１月には158円台を付けました。その後、トランプ政権の関税政策による景気減速懸念が意識され、長期金利は低下に転じたことと、日銀が金利を引き上げたことから、やや円高傾向となりました。４月初旬にトランプ米大統領が相互関税を発表すると、リスクオフの動きが強まり、140円前後まで円高が進みました。市場の混乱を受け、その後、トランプ大統領が一部関税の延期を発表するなど緩和的な姿勢を示すと、ドルを買い戻す動きが強まり、147円近辺で期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、バンガードが運用を行う「バンガード・米国高配当株式ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95％以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.5％となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は＋5.1％となり、ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である＋5.5％を概ね0.4％下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などがあげられます。

○今後の運用方針

引き続き、「バンガード・米国高配当株式ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2024年７月12日～2025年７月11日）

項　　目	当　　期		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料	－	－	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	－	－	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用	3	0.015	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(　3)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合　　計	3	0.015	
期中の平均基準価額は、18,251円です。			

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注３）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2024年７月12日～2025年７月11日）

投資信託証券

銘　　柄		買　　付		売　　付	
		口　数	金　額	口　数	金　額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	VANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD ETF	480,977	61,809	33,492	4,108
	小　　計	480,977	61,809	33,492	4,108

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年７月12日～2025年７月11日）

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年７月11日現在）

外国投資信託証券

銘柄名		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		口	口	千ドル	千円	%
VANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD ETF		2,099,155	2,546,640	345,604	50,686,358	99.5
合計	口数・金額	2,099,155	2,546,640	345,604	50,686,358	99.5
	銘柄数〈比率〉	1	1	－	＜99.5%＞	

（注１）円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
（注２）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年７月11日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	50,686,358	99.3
コール・ローン等、その他	350,157	0.7
投資信託財産総額	51,036,515	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）当期末における外貨建て純資産（50,686,548千円）の投資信託財産総額（51,036,515千円）に対する比率は99.3%です。
（注３）外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、７月11日における円換算レートは、１ドル＝146.66円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年７月11日現在）

項目	当期末
(A)資産	51,036,515,402円
コール・ローン等	350,153,966
投資信託受益証券(評価額)	50,686,358,081
未収利息	3,355
(B)負債	95,610,000
未払解約金	95,610,000
(C)純資産総額(A－B)	50,940,905,402
元本	26,593,051,448
次期繰越損益金	24,347,853,954
(D)受益権総口数	26,593,051,448口
１万口当たり基準価額(C／D)	19,156円

＜注記事項（運用報告書作成時には監査未了）＞

（貸借対照表関係）

期首元本額	22,478,572,741円
期中追加設定元本額	10,258,055,342円
期中一部解約元本額	6,143,576,635円
期末における元本の内訳	
ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・ファンド	16,842,520,978円
ＳＢＩ・Ｖ・米国高配当株式インデックス・ファンド（年４回決算型）	9,750,530,470円

○損益の状況　（2024年７月12日～2025年７月11日）

項目	当期
(A)配当等収益	1,102,212,067円
受取配当金	1,100,834,129
受取利息	1,378,728
支払利息	△ 790
(B)有価証券売買損益	1,285,650,034
売買益	5,306,639,230
売買損	△ 4,020,989,196
(C)その他費用	△ 6,789,303
(D)当期損益金(A＋B＋C)	2,381,072,798
(E)前期繰越損益金	18,490,489,863
(F)追加信託差損益金	8,497,474,658
(G)解約差損益金	△ 5,021,183,365
(H)計　(D＋E＋F＋G)	24,347,853,954
次期繰越損益金(H)	24,347,853,954

（注１）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注２）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注３）損益の状況の中で**(G)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・米国高配当株式 ETF	米国の株式	FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス	0.06%	The Vanguard Group,Inc.

組入上位10銘柄	比率
Broadcom Inc.	6.4%
JPMorgan Chase &Co.	4.1%
Exxon Mobil Corp.	2.4%
Walmart Inc.	2.2%
Procter &Gamble Co.	1.9%
Johnson &Johnson	1.9%
Home Depot Inc.	1.8%
AbbVie Inc.	1.7%
Bank of America Corp.	1.6%
UnitedHealth Group Inc.	1.4%

組入上位業種	比率
金融	21.5%
資本財・サービス	13.4%
テクノロジー	12.3%
ヘルスケア	12.1%
一般消費財・サービス	10.1%
生活必需品	10.0%
エネルギー	8.3%
公益事業	6.3%
電気通信サービス	4.1%
素材	2.0%

出所：The Vanguard Group,Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
（注）2025年６月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第４期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。